



大垣市立墨俣保育園内

子育て支援センター

大垣市墨俣町上宿 483-1

Tel 0584-62-5153

※月～金曜日の9時半～14時半まで開設しています。 子育て支援センター内で自由に遊んでいただけます。

※おはなしな～に・・・毎週月曜日の10時～10時半頃、支援センターの職員が、絵本や紙芝居などを読み聞かせします。

※ちびっこ講座・・・毎月の予定を通信でお知らせします。ホームページでもご覧になれます。

コロナ禍で「新しい生活様式」を守りながら、ちびっこ講座を行っています。

講座の内容によっては定員制、予約制をしております。ご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いいたします。

※お弁当、お菓子はご遠慮ください。水分補給は良いです。

※子育て相談や関連情報の提供をしています。・電話または来園されての相談に対応します。

墨俣保育園（0584）62-5153



## ちびっこ講座 6月の予定

10:00～11:00

| 日  | あそび        | 内容・持ち物など  |
|--|------------|---|
| 2日(水)  | 赤ちゃん一緒に遊ぼう | わらべうた等で赤ちゃんといれあって遊びましょう。お母さんの手とお子さんの体がいれあう気持ちよさを感じさせてあげましょう。支援センターの職員と一緒に楽しく遊びましょう。         |
| 17日(木)   | 親子スマイル遊び   | 毎月1回の墨俣児童館との合同企画です。親子の楽しいいれあい遊びをします。場所は児童館です。定員制、予約制をとらせていただきます。希望される方は、児童館へ電話で予約をお願いします。   |
| 22・23・24日<br>(火～木)                             | 発育測定       | この期間に来てくださったお子さんで、希望される方は、職員に声をかけてください。24日(木)は保健センターの保健師さんが来てくださいます。ご相談したいことがあればこの日に来てください。 |
| 29日～<br>7月2日<br>(火～金)                          | 七夕飾りを作ろう   | 七夕飾りを作っていただけのように準備しました。この期間に来てくださったお子さんで希望される方は、職員に声をかけてください。                               |
| ＜6月のおはなしな～に＞ 10:00～ 7日(月) 14日(月) 21日(月) 28日(月) |            |   |

## 7月の予定



7日(水) ベビーマッサージ 定員制、予約制をとらせていただきます。  
7月1日より予約を開始します。9:30～14:30の間に電話または支援センターに来て予約をしてください。

8日(木) バランスボール 定員制、予約制をとらせていただきます。  
7月1日より予約を開始します。9:30～14:30の間に電話または支援センターに来て予約をしてください。

15日(木) 親子スマイル遊び 定員制、予約制をとらせていただきます。希望される方は、児童館へ電話で予約をお願いします。

19～21日(月～水) 発育測定



## ..4. 5月はこんなあそびをしたよ..



こいのぼりを作ったよ!



### 小麦粉粘土で遊ぼう!

始めは小麦粉を洗面器の中に入れて粉の感触を味わってもらいました。サラサラとした感触にお母さんは気持ち良いねって話しかけていました。その後水を入れて小麦粉粘土にしてもらいました。出来た小麦粉の粘土を丸めたりちぎったりして遊びました。触ろうとしなかった子もお母さんが「これおだんご!」「うちのわんわんだよ」と楽しそうに作ってくれる姿を見て、「自分も触って遊ぼうかな」とてそっと触ろうとする姿が見られました。

子どもの日を前にこいのぼりを作りました。こいのぼりのうろこに見立てたシールを貼って楽しんで頂きました。初めて制作されるお子さんもいましたが、お母さんと一緒にペタペタ貼る事が出来ました。



## お子さんのこんな様子はありませんか？

—墨俣保健センターからのお知らせ—

- よく転ぶ、あちこちぶつかる
- じっと座ってられない

もしかしたら、こうした行動の背景には、感覚の育ちの隔たりや弱さがあるかもしれません。「感覚統合」が未発達、あるいは未熟だと体はもちろん、心の動きもギクシャクしたものに なりがちです。



### 感覚統合とは

様々な感覚から得た情報を有効に利用できるように組み合わせる脳の働きのことで、「①触覚」、「②前庭感覚（体の傾きが分かる）」、「③固有感覚（筋肉や関節の曲げ具合が分かる）」の3つの感覚が重要です。この3つの感覚は自覚しにくく、これらを頭の中で整理して適切な行動をとる力が、子どもは未発達で発展途上です。これらが原因の不器用さや落ち着きのなさが、感覚のつまずきによるものだと分かりにくく、誤解されやすいものです。体を器用に動かすためには、自分の体における「実感」があることが大切です。

この3つの感覚が適切に働くことで、脳の中に体の地図（ホディイメージ）が育ち、それをもとに、物や環境に合わせて体を使えるようになってきます。ボディイメージが未発達であると、上手く体が使えない不器用さが生じ、子どもの意欲の低下につながり、「苦手意識」が生じやすくなります。

### 感覚統合のための体を使った遊びの例

#### ・乗り物、お馬さんごっこ

車や電車、馬などに乗る感覚で、大人のひざの上に座ります。大人は「右に曲がります」「左でーす」などと言いながら、体を左右に揺らします。遊びながら体を傾げる感覚や、それを立て直す力もついてきます。



#### ・布ブランコ

ゆ～らゆ～らとバスタオルの両端を大人2人で持ち、ハンモックのように子供を乗せてゆ～くり揺らします。



#### ・ジャングルジム遊び

身のこなしを育てる代表的な遊具です。自分の体を縦、横、斜め方向に移動させることで、空間の中で自分の体を感じ取り、体を上手に使いこなす能力を高めます。

